

## 部落差別解消推進法施行にかかる部落解放同盟三重県 連合会から知事への要望書の提出及び懇談について

### 1 日時・場所

平成29年6月27日(火) 14時45分～15時3分 プレゼンテーションルーム

### 2 出席者

[部落解放同盟三重県連合会] 松岡委員長、副委員長、書記長、執行委員  
[県側] 鈴木知事、稲垣副知事、井戸畑環境生活部長、富田環境生活部次長、  
長崎参事兼人権課長、長谷川人権監

### 3 要望・懇談

○委員長から知事に要望書の手交、写真撮影(同行の執行委員が撮影)

○要望の趣旨説明

[委員長]

- ・「部落」の名が付いた初の法律であり、取っ掛かりの部分として活かしたいので、取組を進めていただきたい。
- ・法律は実態調査、相談、教育・啓発の3本柱となっている。文部科学省や総務省など国はいろんな形で関連の通達を出している。
- ・これから予算議論がスタートするが、県の方もそれに合わせて取り組んでいってほしい。
- ・国の視点は、インターネット上の人権侵害にある。社会の変化に伴い、10年先の部落差別がどうなっているか分からない。ネットに一度書き込まれれば、拡散し残っていく。
- ・参議院での民進党の有田芳生議員の質問に際し、三重県の結婚差別の実態を伝えた。

[副委員長]

- ・インターネット上の差別の拡散を取り締まるのは難しい。
- ・今までは、差別はないという主張もあったが、法律に差別はがあると記載されたので、取組をよろしくお願ひしたい。

○知事より

- ・法の趣旨を踏まえて、啓発のところをしっかりとやっていく必要がある。
- ・インターネット上の人権侵害は許し難い。部落差別、いじめ、ヘイトスピーチなどひどい状態だ。
- ・県や市町でどういうことができるか、国の動向を注視しながら考えていきたい。
- ・国の実態調査にはしっかり協力していく。

○委員長より

- ・6月25日に上智大学であった「私たちの部落問題」という講座に、が警戒をかいくぐって入ってきた。
- ・三重県連あてにアイスピックやナイフが送られる事案が発生している。組坂委員長宅にも送られて、開封時にけがをした。文書にはひどい差別表現が使われている。
- ・県で取り組んでもらっているインターネットモニタリング事業を強化されたい。伊賀でもネットの監視をしている。各市町でも知ってもらい、取り組んでもらうことが大事だ。

平成30年6月18日  
環境生活部 人権課

## 部落解放同盟から知事への要望書の提出及び懇談について

### 【日時・場所】

平成30年6月18日(月) 17時～17時15分 プレゼンテーションルーム

### 【出席者】

部落解放同盟三重県連合会 松岡克己 執行委員長 [REDACTED] 書記長  
(解放新聞社 編集部 [REDACTED])  
鈴木知事 稲垣副知事 井戸畑環境生活部長  
富田環境生活部次長 田中人権課長 三谷人権監

### 【要望・懇談】

#### 松岡委員長

今回の差別事件については、組坂委員長から、四日市で集会を開催することと、県警に申し入れすることを指示されていたが、知事と面談することで、一定の区切りとすることで組坂委員長に了解してもらった。大阪で発生した地震の影響で交通網が麻痺し、組坂委員長が急遽来県できなくなったが、この面談をもって、区切りとしたい。

部落差別解消推進法施行後に、県内で、今回の差別事件が起こったことを重視している。法の周知徹底を図り、法の趣旨を県民に理解してもらい、部落差別がなくなるよう取組を進めてほしい。

#### 知事

文章の中身もそうだが、組坂委員長が負傷された今回の事件が、県内で起きたことは許しがたい。また、まさに法施行後に起きたということは、我々としても遺憾である。

法に現在も部落差別があるということが明記され、部落差別のない社会にしなければならぬと法で定められ、そういう動きも進んでいる中で、こういった事件が起こったことは遺憾である。

我々としても、今一度、法の趣旨を踏まえ、啓発、教育にしっかりと皆さんと連携して取り組むことが大事だと思っている。

以上

### 第35回人権啓発研修集会の三重県開催にあたっての知事表敬（概要）

令和2年1月24日（金）14時50分～15時 プレゼンテーションルーム

#### 谷川代表理事（一般社団法人 部落解放・人権研究所）

様々な人権課題についての研究集会で、人権の人材を育成するとして35年間続けている。

今年度は沖縄県で初めて開催する。玉城知事にも支援してもらっている。

障害者差別解消法には禁止事項があるが、その他は理念法なので、現場からの声を拾い上げていく。

参加いただくのは、企業、宗教関係の団体、人権行政など。

2500人規模（県外1500人、県内1000人）

県にも支援をいただきたい。

#### 松岡委員長（部落解放同盟三重県連合会）

今年度の全同教大会を三重県で開催し、2年続けての三重県開催で大変なこともあるが、人権教育と啓発を一緒に2年続けてすることの意義は大きいと思ひ、開催の申し出を受けた。県を頼りにしている。

#### 知事

わざわざ、お越しいただきありがとうございます。

平成26年に開催されたときにも参加させていただいた。

開催は三重県にとっても意義深い。部落差別の解消に向けての契機にしていきたい。

お金はないが、何なりと言ってもらって、汗はかくので、集会の成功に向けて一緒になって努力したい。

#### 環境生活部長

差別解消三法の認知度もまだまだ低く、法が浸透していく一つの機会であるので、いろいろな面で協力させてもらおう。

#### 名刺交換

#### 写真撮影